

＜福井＞敦賀火力発電所における火災の原因と対策について

2021年5月10日
北陸電力株式会社

5月7日、敦賀火力発電所の運炭設備No.8 乗継建屋内で、ベルトコンベヤ付近から火災が発生し、3時23分に鎮火が確認されました。（5月7日お知らせ済み）

その後の調査で、以下のとおり原因を究明し、今後、対策を行うこととしましたのでお知らせします。

■原因

1号機定期点検^{※1}に合わせて、乗継建屋内にある設備の内壁面補修のため、当て板溶接作業を行っていたところ、内壁面^{※2}に付着していた石炭粉に溶接作業の火花が飛び、時間経過に伴って石炭粉がくすぶり発火して、ベルトコンベヤの一部が燃え火災に至った。

※1 定期点検期間：2021年4月10日～7月9日（予定）

※2 点検のため設備停止後の4月13日に水洗済み

■対策

溶接作業において、以下の対策を実施する。

- ・これまでも設備停止後に水洗除去を行っていたが、今後は作業実施直前にも、溶接作業部周辺の石炭粉の入念な水洗除去を徹底する。
- ・作業終了後に、火花飛散や伝熱の範囲を十分に考慮し、従来よりも広範囲に散水による冷却と湿潤状態の確保を徹底する。

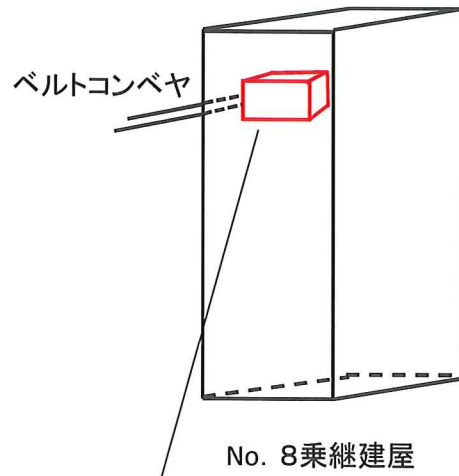
地元の皆さまをはじめ、関係の方々にはご心配・ご迷惑をおかけし、お詫び申し上げます。

当社は、今後も発電所のより一層の安全運転に努めてまいります。

以 上

添付資料：溶接作業位置図

・No. 8乗継建屋全体図



・溶接作業箇所

